

# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校  
校長  
酢谷昌義

## 求められる「工夫」

校舎が狭く感じられるようになったことについて触れましたが、その狭くなった校舎をどう工夫すればより良く使えるのかということが課題になっています。子ども達だけでなく、私達教員も考えなければならないことがいろいろあります。

夏休みに入ってすぐに、鉄棒3台と逆上がり練習器1台・マット8枚が届きました。鉄棒は移動式で室内で使用するものです。せっかく購入させてもらった教材ですから、出来るだけ使える機会を多くしたいと思っています。しかし問題は、設置場所を含めた安全への配慮です。事故なく子ども達が楽しめるように、使用時のルールを含めきめ細かな指導をしなければならないと思っています。

お弁当の取り方にも変化が出てきました。昨年からずっと続けていた全校昼食ですが、みんなが集まって食べるのに必要な机・いすの数が足りなくなっていました。



講堂に置いている鉄棒2台

開校時に日本から運んでもらった机・いすが40セットあります。これはすべて各教室に配置されています。カタール政府から提供された机・いすもありますが、それでも全く足りません。

小規模・少人数だからこそこの全校昼食の時間です。何とか工夫をして続けていきたいと考えています。



もう1台の鉄棒と逆上がり練習器



楽しみにしていた「身体測定」

### どれだけ伸びたかな？ 「身体測定」実施

先週の木曜日に今学期最初の身体測定を行いました。みんなどれだけ伸びているのか、とても楽しみにしている様子でした。

30人ほどの児童生徒数は、日本では1クラスほどの人数ですが、今までに比べるとずいぶん計測に時間がかかるようになりました。今後は各クラスでの計測にするなど、ここでも工夫をしなければならなくなっています。

子ども達の身体の変化には、これからも十分気を配っていききたいと思います。

## 楽しく取り組めた「全校体育」の時間

先週の体育の時間は、水泳指導のコース分けや体育に関わる全体指導をした後、全校で体育授業に取り組みました。柔軟体操をはじめ、基礎的基本的な動きを繰り返し、基礎体力を高める運動をみんなで頑張りました。全員きれいなブリッジができ

るのには、とても感心しました。腕立て伏せや腹筋運動にも一生懸命頑張っていました。最後はみんなで「じゃんけん列車」をして盛り上がりました。

運動に関しては非常に厳しい環境にあるからこそ、しっかり指導していきたいと思っています。



# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校校長  
酢谷昌義

ドッジボールも貴重な運動経験

## 「経験」の大切さ!!

休み時間になると、鉄棒に挑戦する子ども達がとてもたくさんいます。昨日は高学年の体育でも鉄棒を行いました。できるだけいろいろな機会を利用して、鉄棒にも親しませていきたいと思っています。

ところで、子ども達が鉄棒をしているのを見ていて、学年には関係なく体の調整力を必要とする運動をしたことがどれだけあるかという「経験」の差が、何よりも大きく影響するということを改めて感じました。どういうことかと言うと、鉄棒運動などは学年があがれば上手になるというのではなく、どれだけその運動に親しんだかで、技術や能力に違いが現れるということです。

それは鉄棒に限ったことではありません。運動全般に言

えることですが、中でも器械運動のような調整力を必要とするものは特にそうです。

調整力と言ってもいろいろな要素がありますが、私が最も大切だと思っているのは「逆さ感覚」と「回転感覚」です。なぜかと言うと、この2つは日常生活の中で普通には起きない動きだからです。そしてこの2つは、できるだけ幼い頃から経験させた方が身につけやすいものなのです。

マット・鉄棒・跳び箱は、日本の体育の授業でも重視されている運動ですが、授業中にけがをする子どもが多くなっていることも事実です。特に跳び箱での事故がよく起きます。それはこの2つをはじめとした、調整力が身につけていないからだと考えます。

私がこれまで指導してきた

経験では、まずマット運動を十分に経験させ、それから鉄棒に慣れさせる。そして跳び箱に向かわせるというのが、効果的な指導順序ではないかと思っています。

幸いマット・鉄棒が使えるようになったので、体育の時間はもちろんですが、遊びを通していろいろな運動経験を増やしていくことができれば良いと考えています。その中から、自分で自分の体を思うように操作できる調整力を身につけていくことができるのではないかと思います。

### スクールバスの時刻について

また朝の交通混雑が始まりました。そのためスクールバスの配車予定時刻に大きなずれが生じております。

今朝最も時間がかかったバスは8時15分学校着でした。しかし学級の時間や授業に支障はありませんでした。

何かとご心配ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力よろしくお願いいたします。



休み時間には鉄棒や卓球・ピアノを弾いたりして楽しんでいます



# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校  
校長  
酢谷昌義



新しい本と三田会長を囲んで

## 本のプレゼント!

昨日の放課後、中部電力会長の三田様が学校を訪問されました。三田会長がドーハ日本人学校にいらっしゃるのは、これで3回目になります。そして今回も、子ども達にたくさんの本を持ってきてくださいました。

低学年の子ども達が下校した後でしたから、残った子ども達で贈呈式を行いました。今までいた子ども達の多くは、これまでもたくさんの本をプレゼントしてくださったことを良く覚えていました。それだけ三田会長のことは、とても印象深く残っていたようで、学校に来られるのを心待ちにしていた子どももいたようです。

今回も約80冊もの本を寄贈してくださいました。前は高学年・中学部向けの本が多く選んでありましたが、今回は低・中学年が喜びそうな本がたくさんありました。子ども達のことを考えて、毎回三田会長ご自身が本を選んでくださっているのだそうです。

小学部低学年から中学部までをご配慮いただき、本当にありがたいと感激しました。

贈呈式の中で「本を読んで何かを感じてほしい。それが良いことであっても悪いことであっても、本を読んで感動できればとても素晴らしい。その感動は大人になってからも必ず生かされるはずですよ。」というお話をされました。

前回お話された「本を読むことは人と出会うこと」と合わせて考えると、本を読むことによって多くの人からいろいろなことを学んでほしいと

いう願いを持っておられるのではないかと私には感じられました。

その後図書室もご覧になり、本が増えたことをとても喜んでくださいました。帰られる前に「夢のあるもの、夢を与えられるものを子ども達にはあげたい」ということを私に話されました。こういう時代だからこそ「夢」が必要なのだ、子ども達を指導する上で忘れてはならないことを思い出させていただきました。

たくさんのプレゼント、本当にありがとうございました。



約80冊の本のプレゼント



みんなの笑顔が印象的な三田会長との記念撮影

# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校  
校長  
酢谷昌義



中学部は全員がパソコンで

## 研究体験発表会に向けて

来週28日(火)に行う「夏休み研究体験発表会」に向けて、今週はどの学年もその準備に一生懸命取り組んでいます。児童生徒数が増えましたが、全員に発表の機会を確保できるのが小規模校の良さです。今回は全校児童生徒が一堂に会して行うことはできませんが、貴重な発表の場ととらえて指導しています。

私は自分が小・中学生の頃を振り返ってみて、このような経験をした記憶はほとんどありません。発表会なるものはありましたが、自分が研究・体験したことをまとめ、発表資料を準備し、そしてみんなの前で発表するというようなことはありませんでした。あったとしても、それは1部の選ばれたものだけが経験できる場だったように思います。

自分の体験を振り返り・まとめ・発表するということは、それがたとえ稚拙であったり不十分なものであったりしても、その子にとっては大変意味のあることだと考えます。



1・2年生も頑張っています

なぜならとても主体的な取り組みだからです。学習に主体的に取り組むことが、自分をのばすためには最も効果的です。主体的に取り組んだ成果を、肯定的に評価してもらうことによって子ども達は自信をつけ、より意欲的になることができるのです。今回の発表会も、そういう場にてきればいいと思っています。

発表資料作りをしている様子を見て回りましたが、誰もがみんな真剣な眼差しで、どの資料にもそれぞれその子ら



3・4年生も力が入っています

しさが現れていると思えました。もちろん学年の発達段階もあり、高学年になるほど「さすが!」と思わせられるものになっていきます。子ども達の発表テーマを見ているだけで、当日の発表がとても楽しみになります。

それぞれがそれぞれの思いを持って、一生懸命準備を進めています。お互いの体験や研究を発表し合う取り組みを通して、学習・生活の両面で主体的に取り組むことの良さを味わってほしいと思います。



5・6年生は聞く人を意識して

### 9月の「生活安全目標」

今月は児童生徒会の目標でも、3つの「あ」を取り上げてくれています。

新しい友達も徐々に学校生活に慣れてきて、朝のあいさつの声も少しずつ元気良くなってきました。靴の整頓に気をつけている人も今まで以上に増えてきました。

意識しなくてもできるところまで、習慣化させていきたいものです。

